



# つのちょう 議会だより

第44号

12月定例会

平成28年2月1日発行

主な紙面

4億8,600万円を増額（補正予算） ..... 2P

行政報告・傍聴記 ..... 4～5P

町政を問う（5人が一般質問） ..... 6～13P



# 一般会計補正予算

12月定例会

公債費繰上  
償還金 等

# 4億8,600万円を増額

総額70億6,300万円

▼国民健康保険事業特別会計  
補正予算（第3号）

事業勘定で事業費確定に

千円、山地災害防止事業800  
万円、がけくずれ住家防災  
対策事業3千387万7千円等  
を減額。山林収益基金積立  
金624万8千円、郷地区集落  
活動拠点施設備品購入等885  
万円、イノシシ駆除奨励金  
587万4千円、公債費の繰上  
償還金4億4千712万4千円  
等を増額。歳入歳出4億8  
千600万円を増額し、歳入歳  
出の総額を70億6千300万円  
とする。

可決（全員一致）

▼簡易水道事業特別会計補正  
予算（第1号）

人件費の決算見込み及び  
消費税の中間納付に伴い歳  
入歳出363万6千円を増額し  
歳入歳出の総額を4億570万

円とする。  
可決（全員一致）  
一部改

▼津野町非常勤の職員の公務  
事務

削除に関し定めるもの。  
可決（全員一致）

整備に伴い、郷地区集落活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例の一部改正

郷地区集落活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例の一部改正

## 27年度 補正予算

▼一般会計補正予算（第4号）

県議会議員選挙費320万2  
千円、山地災害防止事業800  
万円、がけくずれ住家防災  
対策事業3千387万7千円等  
を減額。山林収益基金積立  
金624万8千円、郷地区集落  
活動拠点施設備品購入等885  
万円、イノシシ駆除奨励金  
587万4千円、公債費の繰上  
償還金4億4千712万4千円  
等を増額。歳入歳出4億8  
千600万円を増額し、歳入歳  
出の総額を70億6千300万円  
とする。

可決（全員一致）

▼介護保険事業特別会計補正  
予算（第3号）

人件費及び事業の決算見  
込みに伴い114万8千円を増  
額し、歳入歳出の総額を7  
億7千471万5千円とする。

可決（全員一致）

▼津野町介護保険条例の一部  
改正

「行政手続における特定  
の個人を識別するための番  
号の利用等に関する法律」  
の施行により、これまで保  
険料の徴収猶予と減免に必  
要とされていた書類が個人  
情報の取り扱い可能となる  
ことから、関係する文言の

伴う償還金等529万6千円、  
直営診療施設勘定で人件費  
28万2千円を増額し、歳入  
歳出の総額を事業勘定9億  
7千51万6千円、直営診療  
施設勘定1億5千166万円と  
する。

可決（全員一致）

▼津野町事務分掌条例の一部  
改正

改訂文について、重複をい  
た條文において、重複をい  
とわざ総合的に規定するこ  
とが適当であるとの「総務  
省自治税務局長通知」に基  
づき一部を改正するもの。  
可決（全員一致）

▼津野町税条例等の一部改正

津野町税条例等の一部を  
改正する条例において定め  
た条文について、重複をい  
とわざ総合的に規定するこ  
とが適当であるとの「総務  
省自治税務局長通知」に基  
づき一部を改正するもの。  
可決（全員一致）

## 条例の制定・改正

円とする。

可決（全員一致）

災害補償等に関する条例の  
「被用者年金制度の一元  
化等を図るための厚生年金  
法等の一部を改正する  
法律」の施行による地方公  
務員災害補償法施行令の改  
正に伴い、所要の改正を行  
うもの。

町社会体育施設から削除し、津野町集落活動拠点施設設置及び管理運営に関する条例に郷地区集落活動拠点施設を追加するもの。

可決（全員一致）

## その他の議案

▼平成27年度大野統合簡易水道（西黒川）施設整備工事請負契約の変更契約の締結

契約金額  
変更前  
1億4千126万4千880円  
変更後  
1億4千845万7千880円  
請負者  
可決（全員一致）  
道路災害復旧工事請負契約の締結

▼平成27年度町道勝登呂線

契約の方法  
契約金額  
請負者  
（株）谷渕組東津野支店  
可決（全員一致）  
▼平成26年度林道東津野城川

▼平成26年度林道柿の木谷線  
災害復旧工事請負契約金額  
を169万9千920円減額し、6千944万4千円とするもの。

▼平成26年度林道東津野城川

## 委員会発委

▼津野町議会委員会条例の一  
部改正

津野町事務分掌条例の一  
部改正に伴い、津野町議会  
委員会条例中「住民福祉課、  
西庁総務課、西庁住民福祉  
課」を「町民課、健康福祉  
課」に改め、「産業建設課」  
を「産業課」に、「西庁產  
業建設課」を「建設課」に  
改めるもの。

可決（全員一致）

## 専決処分の報告

▼平成27年度津野町葉山運動  
公園総合センター整備工事  
請負契約金額を490万1千40  
円増額し、6億2千590万1  
千40円とするもの。

可決（全員一致）



工事が進む葉山運動公園総合センター体育館

## 陳情の審査

線災害復旧工事請負契約金  
額を34万4千520円増額し、  
1億6千509万8千520円とす  
るもの。

▼「森林・林業政策の推進を  
求める意見書」採択につい  
ての陳情

（決定）採択  
(理由)

森林は、公益的機能の保  
持や木材・エネルギー等の  
供給、二酸化炭素の吸収等  
々、国民の安全・安心、國  
土・環境を守る重要な國民  
共通の財産である。

（決定）繼續審査  
(理由)

久保川地区連絡道の開設に  
ついての陳情

陳情の内容について、な  
お引き続き審査・調査、協  
議が必要であるため繼續審  
査とした。

しかし、森林・林業・木  
材関連産業の現状は、必要  
な予算が確保されていない  
森林吸收源対策や長期にわ  
たる木材価格や国産材利用  
の低迷により経営基盤が依  
然として脆弱であり、山村  
の弊害も著しい状況となっ  
ている。

こうした中、本年3月「山  
村振興法」が改正され「地  
域の特性を活かした産業の  
育成による就業機会の創出」  
や「定住の促進」等が新た  
に基本理念に盛り込まれた。  
この新たな基本理念を踏  
まえ、山村地域の再生、地

域経済の活性化を図るため  
には、森林・林業施策の推  
進は急務であり安定財源の  
確保、立地条件に対応した  
森林整備、間伐材等の利活  
用、適切な治山対策、鳥獣  
害対策の実施等が重要とな  
つてることから採択とし  
た。



池田町長

## 行政報告 町長告白

総合戦略に基づき個別施策等を明記したアクションプランを盛り込む改定を平成28年3月に予定。

### マイナンバーの配達状況

本年は幸いにも台風等による大きな災害もない中、葉山運動公園総合センター・郷地区集落活動拠点施設・大野統合簡易水道施設・林道柿の木谷線災害復旧・町道船野白河瀬線をはじめとするインフラ整備を実施。

### 平成28年度予算編成方針

普通交付税は28年度に1億円、32年度には33億円の減額。効果的な行財政運営を推進し「第Ⅱ期津野町まちづくり計画」を基に、津野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の3つの基本目標「地域における雇用創出」「人の流れをつくる」「安全な暮らしと地域の連携」を重点施策として予算を編成する。

### 地域づくり活動

貝ノ川地区の「棚田キャンドルまつり」郷地区の「長沢ウォーキング」「郷で合コン」白石地区の「新莊川清流保全活動」新たに姫野々地区では「姫野々まつり」が開催された。交流イベントを通じての活性化が「奥四万十博」の推進軸となることに期待。

### 地方創生総合戦略策定

「津野町まち・ひと・しごと創生推進本部」を組織し、12月1日に計画策定に至る。合計特殊出生率の上昇や若者の転出超過の抑制・U-I-Jターンの促進に取り組み、津野町人口ビジョンは二〇六〇年に3千698人を目指す。

社会保障や納稅に関する共情報を一元的に管理する共通番号制度（マイナンバー制度）が平成27年10月5日に施行され、平成28年1月から運用が開始される。町内では11月12日から配達が開始され、11月末までに町に返戻された通知カード入り封筒は199通。本人に確実に届ける方法を取つていく。

天狗荘・ふるさとセンター

天狗荘は林道東津野城川線の通行止めがあり、4月から7月は昨年比で約600万円減、特に7月は天候不順と相まって団体客はほぼゼロに近い状態で500万円に近い売り上げ減であった。9月のシルバーウィークには通行可能になり、昨年並みに回復している。

### 天狗荘・ふるさとセンター

### プレミアム商品券

総発行額8千750万円に対し、各店舗換金済額は11月13日現在で7千884万1千円となつており、残り865万9千円が換金されていない。

12月31日が使用期限のため周知を図っている。

### 産業祭・健康ふくし展

11月22日に開催。町内外から1千500名が来場。農産物の品評会には昨年の出品

隊1名を採用。天狗荘に常駐し、新たな目線で冬場や来年度の「奥四万十博」期間中の集客を目指している。のリニューアルやメニュー変更の効果もあり風車の駅の食堂部門では昨年比123・6%、全体でも105%、道の駅は全体で103・6%、満天駅の星アンテナショップは112・4%，十津店は96%，瀬戸店は週4日営業にしたた内では11月12日から配達が開始され、11月末までに町に返戻された通知カード入り封筒は199通。本人に確実に届ける方法を取つていく。

本年は、訓子府町から菊池町長・上原議会議長ら9名が来町し、農家婦人部の野菜俱楽部5名による「訓子府たれカツ丼」特産のじやがいもを使った「スノーマーチナゲット」の販売があり、瞬く間に完売した。

本年は、菊池町長・上原議会議長ら9名が来町し、農家婦人部の野菜俱楽部5名による「訓子府たれカツ丼」特産のじやがいもを使った「スノーマーチナゲット」の販売があり、瞬く間に完売した。

数を大幅に上回る353点があった。

産業祭では津野山古式神樂・ミニコンサート・丸太

れた。

## 教育フォーラム・文化祭

地域ぐるみで道徳教育を進め、心豊かな津野つ子を育成することを目的に津野町道徳教育推進地区協議会の主催で11月1日に教育フォーラムを開催。町内各小中学校の「道徳」の公開授業・こども園の発表・津野つ子標語の表彰式。シンボジウムでは「地域や家庭を巻き込んだ道徳教育が必要である」をテーマに延べ380名の参加。今後の津野町道徳教育への展望を協議。



津野町教育フォーラム（B & G 海洋センター）

文化祭・学童展は10月31日から11月2日まで開催。ちぎり絵や書道など130点の一般展示と児童・生徒の作品が展示された。関連事業として移動図書館の「親子で本を読む」イベント、親子で触れ合い遊ぶ「幼稚園ウイークデー」囲碁・将棋教室などのほか、11月22日には津野町文化協会による「文化祭舞台発表」を開催した。

## 学力向上対策

中学校の基礎学力の定着を目指し9月以降、月1回の指導日の午前中は中学校を中心に授業参観を実施している。11月18・19日には文化庁の育成事業により、大阪交響楽団のオーケストラ公演が行われた。中央小学校は、県下で特に優秀な学校に贈られる「坂本教育賞」を受賞し、11月21日に授賞式が行われた。

## 傍聴記

12月8日に行われた定例会一般質問の傍聴をしました。

津野町に移住して3カ月が過ぎようとしていたころ、地域おこし協力隊の職務を全うするためには町民の意見や想い、行政の考え方や活動を知っておかなければいけないと考え、休日と一般質問の日にちが合致したことで初めての議会傍聴をできました。

一般質問のなかに私が携わる事柄の一つである、奥四万十博についての質疑・答弁がありました。その質問の一部は私自身が伺いたいものと同じであり、答弁された方々の一言につたため、議員さんと一緒に参加する気持ちで傍聴席での私の体は前のめりになりました。過去の議会、だよりで記述があるように、傍聴席26席に対しても、この日は多い時

で私も含めて3人でした。移住して日が浅い住民としまして感じましたことを率直に申し上げます。議会議員という役割は住民の意見・考えを統べて、行政へ伝えるものと考えております。

自治体組織というものは大小に関わらず、住民がいなくては成り立たない、その代表者たちで運営・維持・発展・継承していくものだと考えています。

行政に異を唱える、または相談・交渉などをしたいと考えている住民は議員にて議員が自分の想い・考えを代弁してくれているのをまかせつきりにせず、議会という公式の場に参加して一緒に応援、または戦うという意思を示すことが大切だと感じました。

今回の一般質問は、全て傍聴すると9時半から16時頃までになりましたが、選挙で一票を投じた議員の質疑応答だけならば最長で80分で終了します。

津野町が保有する宝を発展・継承していくのは住民一人ひとりの力が結集されなければ叶いません。今後の津野町の発展を担う住民の一人として率直な考えを記述させていただきました。

大智豪悟  
津野町旧宮



12月定例会・本庁議場



田中一孝

## 一般質問



奥四十博サテライト会場  
となる道の駅布施ヶ坂

池田町長 奥四十博を機会に新しい全国屈指の観光地を今まで活かしきれてなかつた。

四国カルストは日本三大カルストでリピーターが多い。奥四十博後の観光振興にも最大のチャンスだ。職員等の意見を引き出し各方面の整備をすべきでは。

片岡邸・資料館や姫野々城跡等の整備を検討するとしていたが現状の報告を求め

博覧会へは行政全部署の横断的な推進本部を設置して成功させたい。

ではホームページの情報更新、SNS・ラジオ・テレビ等で情報発信。施設老朽化による改修は調査し県と協議していく。

### 問 奥四十博のメインは

答 既存イベントを中心に行

田中

奥四十博の本町独自・メイン計画は。

戸田産業建設課長

既存のイベントを中心とし「ふれあい特産市・夏まつり・産業祭」を主力に実施したい。

田中

推進・支援の体制は。町外への情報発進を大きくし集客を図るべきでは。

池田町長

博覧会へは行政全部署の横断的な推進本部を設置して成功させたい。

戸田産業建設課長

博覧会目的は交流人口拡大が一番。ハード・ソフト両面の支援体制をしていく。

野草・星の観察会、セラピードーム等の行事を年間通じて計画する。宣伝企画ではホームページの情報更新、SNS・ラジオ・テレビ等で情報発信。施設老朽化による改修は調査し県と協議していく。

村田副町長

林道が復旧・開通した。四国カルスト・天狗荘への集客、イベント、施設整備は。

野草・星の観察会、セラピードーム等の行事を年間通じて計画する。宣伝企画ではホームページの情報更新、SNS・ラジオ・テレビ等で情報発信。施設老朽化による改修は調査し県と協議していく。

林道が復旧・開通した。四国カルストへの集客、イベント、施設整備は。

野草・星の観察会、セラピードーム等の行事を年間通じて計画する。宣伝企画ではホームページの情報更新、SNS・ラジオ・テレビ等で情報発信。施設老朽化による改修は調査し県と協議していく。

### 答 年間通じて計画する

奥四十博の本町独自・メイン計画は。

戸田産業建設課長

既存のイベントを中心とし「ふれあい特産市・夏まつり・産業祭」を主力に実施したい。

田中

林道が復旧・開通した。四国カルストのあり方を探りたい。

林道が復旧・開通した。四国カルストへの集客、イベント、施設整備は。

林道が復旧・開通した。四国カルストのあり方を探りたい。

林道が復旧・開通した。四国カルストへの集客、イベント、施設整備は。

### 問 片岡邸・資料館。

姫野々城跡等の整備は

答 奥四十博に向け整備中

川上教育長 片岡邸は関係資料を今後を含め考慮しながら東地区への集約・整備を検討。資料館1階2階の展示の内容を整理する。奥四十博に向け文化財保護審議会委員・葉山史談会へ協力要請。等は県埋蔵文化財センター・県歴史民俗資料館へ協力を請する。

田中

昨年6月議会の答弁で、片岡邸・資料館や姫野々城跡等の整備を検討するとしていたが現状の報告を求め

片岡邸・資料館や姫野々城跡等の整備を検討するとしていたが現状の報告を求め

片岡邸・資料館や姫野々城跡等の整備を検討するとしていたが現状の報告を求め

## 問 道の駅施設の整備は

答 県と協議し改善計画

田中

道の駅・布施ヶ坂駅舎は開業当時のままでは、奥四十博に向けて駅舎回り・トイレの整備予定は。

戸田産業建設課長

女子トイレは平成26年度に洋式化。ベンチ等は県と協議し、その他の改修等は奥四十博サテライト設置の工事に合わせ検討したい。



食堂が広められた道の駅布施ヶ坂

## 問 診療所前に手すりを

答 玄関前に設置を考える

田中

姫野々診療所前や薬局付近に手すりがない。転倒予防のために安全策が必要ではないか。

黒川住民福祉課長

診療所前は降雨時の事例を確認し玄関前に手すりを考えたい。薬局前は駐車場で手すりは考えていない。



姫野々診療所

田中

施設開館からインターホンが鳴らない、庭が玉砂利で車椅子が進めない等ある。改善が必要ではないか。

川上教育長

四十川流域ガイダンス施設で県文化財指定を受けている。インターほんの故障で来館者には迷惑をかけたが現在は復旧。施設は開館して間もない。当分は現状で営業。

## 問 虎太郎邸の施設改善は

答 現状で施設営業する

## 問 「緑の広場」の今後は

### 方向性を定め管理

田中

駄場「緑の広場」のベンチ等は保守管理されず、芝生は雑草だらけだ。今後利用を含めどう考えるか。

池田町長

地元の指摘もあった。現状では公園機能を断念して企業誘致候補地等含め幅広い有効利用を考えたい。方向性が定まるまでしっかりと管理する。

## 問 地元業者の支援を

## 答 サポートしていく



川上智子

### 一般質問

川上 智子

定住促進において仕事の確保は重要である。今新たに企業誘致することの困難さや企業撤退の面から考えても既存の業者の支援をすべきではないか。

池田町長

今町内にある263事業所が何を求めているのか具体的に探りながら把握し、それに対しサポートしていく体制を取っていく。3月までに策定するアクションプランの中で取り組む。



認知症サポーター養成塾

川上 智子

超高齢化社会の担い手になる子ども達が高齢者や認知症について理解を深めるためにも児童生徒の認知症サポーター養成に取り組んでいます。

川上 教育長

サポーター養成については包括支援センターと連携し実施した学校もある。子どもたちの発達段階に合わせ関係機関とも連携し取り組んでいきたい。

## 問 児童・生徒の 答 サポーター養成を 関係機関と連携し取り組む

川上 智子

認知症カフェが県内各地に増えている。介護者の負担軽減や認知症の人への社会参加などの促進が期待できる点からも早期に取り組む予定はないか。

津野西庁住民福祉課長

「サロン」「あつたかれあいセンター」など現有する資源の活用は可能と考える。介護保険計画では、30年の4月を目処に十分勉強し設置に向けて検討していく段階である。

## 問 認知症カフェの 答 取り組みは 検討する段階



## 親子でお弁当作り（さくらんぼ園）

**問  
切れ目ないサポート  
提供を**

子育て支援の  
具体策は

川上

近年少子高齢化対策が高まる中、母子保健分野ではフィンランドの出産育児支援のしくみ「ネウボラ」に注目が集まっている。本町での取り組みは。

今後の子育て支援の目玉に「教育」を掲げているが、どのような視点に立って推進していくのか。また具体的な対策は。

に、地域の方々にこども園・学校に係わりを持つていて、だくよう積極的に取り組んでいく。

池田町長　学校・地域・家庭がひとつになり町全体で子ども達を見守り育てる環境をしつかり作ることが重要である参考書。

**問** 積極的に職員研修を  
**答** どんどん支援する

日本でもモデル事業の実施が検討されている。その動きを注視。

津野西序住民福祉課長  
本町の子育て支援については手厚い施策を行つてい  
る。妊娠期から出産・子育ての期間については現行の  
更なる充実強化を図り対応する。

※「ネウボラ」とは、  
福祉大国であるフィンランド  
の子育て支援制度のこと。  
フィンランド語で「アドバイ  
スする場所」という意味。

川上  
今後は事業提案、施策立案できる職員が求められる。町政発展の為にも意欲ある若い職員に先進地視察などの研修の機会を積極的に与えてはどうか。

池田町長  
若い職員の育成を図ることが職員のスキルアップに繋がっていくと考える。二つの部署だけでなく横断的な中で若い職員自ら企画し研修を行う動きが芽生え始めている。どんどん支援していきたい。

池田町長　若い職員の育成を図ること  
とが職員のスキルアップに  
繋がっていくと考える。二  
つの部署だけでなく横断的  
な中で若い職員自ら企画し  
研修を行う動きが芽生え始  
めている。どんどん支援し  
ていきたい。

## 問 原発への考え方

### 答 再稼動もやむを得ない



中山昭英

町長は、これまで原子力発電の安全性から段階的な廃止や自然エネルギーへの転換を進めるとしてきたが今も変わらないか。  
池田町長

脱原発を目指して依存度を徐々に減らしていくべきであるが、万全の安全対策を講じることを前提として社会生活・経済活動を安定的に維持して行くうえで当面は再稼動もやむを得ないと考えている。

当然、原発に依存しない社会の実現のために、自然エネルギーの導入を推進することも国・電力会社に求めていく。



四国電力伊方原子力発電所

## 一般質問

### 問 原発への国民理解感

### 答 県の判断を尊重

中山

四十万川アピールを表明し、国・電力会社が安全性への国民理解について説明責任を果たすべきと言つていしたが、現状はどうか。

池田町長

原子力に関する国民の懸念は払拭されていないので國・電力会社がしっかりと説明すべきと考えている。県が再稼動を容認した判断を重く受け止め尊重すべきと考えている。

中山

新基準に合格したが、原子力規制委員会の委員長は「絶対に安全とは言わない」と危険性も認めている。日本は地震大国、伊方原発沖7kmにある活断層、処理できない高レベル放射能等の様々な危険がある。

町長は再稼動の安全性を確認しているのか。

池田町長

## 問 伊方原発の再稼動は

### 答 注視していく

新基準に適合する安全対策、愛媛県・伊方町・高知県の事前協議、勉強会に基づく容認の判断から再稼動の安全性と必要性を理解している。安全対策は終わりのないことであり、常に最新の知識を持つて対策を講じていく必要から注視していくことが重要である。

中山  
四国電力が新エネルギーに対して抑制をかけることは、知事や町長が進めようとしている自然エネルギーへの転換を否定する行為である。抑制の解除に取り組むべきではないか。

池田町長  
再生可能エネルギーの促進はしなければならない。そのため送電網の整備や蓄電池の導入促進を国に強く訴えると共に、県・各自治体と協力して四国電力を促進していく。



総合健診（西庁福祉交流センター）

岡崎企画調整課長  
町内の空き家調査の情報開示の時期と今後の更新への取り組みは。昨年の調査で、貸す意思のある15軒の台帳を整備している。本年度も5軒の可能物件があるが、修繕の必要もあり今後の支援の方を検討する。空き家情報の公開は、家主の同意が得られた物件から行っている。

問 拘束の解除を  
答 促進を求める

問 ダムの撤去を

答 考えられない

中山  
伊方原発が安全として稼動されるなら電気供給の心配は無くなり、四万十川の各ダムは不要になる。ダムの撤去を求めるべきではないか。

池田町長  
町民が健康を維持することは、国保・介護・人口減等に大きなメリットがある。受診率アップのための取り組みを聞く。

中山  
生活習慣病を予防するための健診で、今年までの受診率は県平均が33%に対し約53%と高い方である。今後は商工会や企業の協力等、多方面からの対応を検討していく。

池田町長  
特定健診の充実を  
答 受診率アップに努める

問 空き家情報の公開は

答 始めている

## 問 新田の通学路対策は

## 答 国道整備計画が先



松尾信壽



歩道のない新田商店街

松尾

新田商店街が大変寂れて  
いる。子どもの安全のため  
にも、三叉路からB&G海  
洋センターに向かっての学  
童通学路の整備について、  
県土木との協議はないか。

## 一般質問

池田町長

前回の一般質問以降も、  
県土木から協議の予定はない。  
なお、情報を共有しながら、  
439号の改良に向けて取り組みをしていく。

川上教育長

歩道を改良することが国  
道439号線の改良とみなされ  
る。新田地区全体の道路整  
備計画を進めていくことが  
先決だと思う。



みんなで盛り上げよう

戸田産業建設課長  
申しこみSNS等で情報を  
拡散していただきたいと思  
っている。

全ての町民が奥四万十博  
に係わり、全員参加での成  
功ということを目指してい  
きたい。

池田町長  
公共施設にポスター・の  
ぼり旗・看板等出している。  
12月の広報でサポートの  
募集を行っている。個人で  
募集を行っている。

奥四万十博は4月～12月  
という長期間でもあり、多  
方面からの計画で町に潤い  
をもたらすべき。現状はどう  
なっているか。

松尾

## 答 奥四万十博は 町民全員参加で

## 問 利用率をどう捉えるか

## 答 現状で妥当



西元和代

## 一般質問

西元

福祉タクシー券の利用率をどう捉えるか。1月に町内の機関や団体に協力を依頼して以降、動きの見られない障がい者の外出支援にもっと重点を置いてはどうか。

津野西庁住民福祉課長

福祉タクシー券の受け取り率50%は高いと思う。今後も年2回、広報で周知徹底を行う。利用に関しても高齢者の福祉の増進・社会参加の幅を広げる主旨に基づくと、現状のままで妥当と考える。障がい者の外出支援に関しては、計画後の実行や見直しに繋げられていなかった。今後、誰もが暮らしやすい町づくりのために取り組んでいきたい。

戸田産業建設課長

近隣4市町の郵便局にて対応されている。情報を収集し、頻度等の調査をしながら対応を進めていきたい。

川上教育長

町が不可でも学校としては前向きに取り組むべきと考える。



インクカートリッジ

※クラウドファンディングとは  
不特定多数人が通常インターネット経由で他の人々や組織に  
財源の提供や協力などをすること。  
群衆と資金調達を組み合せた造語。

## カートリッジのリサイクル活動への参加を進めていきたい

問

答

地域創生と資源の有効活用を使用済みインクカートリッジのリサイクル活動がある。

西元

企業が地域と共同で行う環境保全と資源の有効活用

地方創生に向け、もっと子どもの視点を取り入れるべき。また、地元愛を育み次世代へと繋ぐためにも、子ども観光大使の取り組みや中学生によるクラウドファンディング等を推進してはどうか。

西元

## 子ども観光大使の取り組みを

問

答 津野山学の中で工夫

岡崎企画調整課長

総合戦略では津野町の魅力を発見し、町外へ情報発信できる人材育成を目的とした津野山学がある。地元のため町として、又は津野用町の学校として取り組んではどうか。

# 鳥取県日南町 を視察研修



鳥取県日南町

総務常任委員会と産業建設常任委員会は去る11月19日から20日まで合同で視察研修を実施した。

○鳥取県日南町  
中国山地のほぼ中央、広島県・岡山県・島根県の3県に隣接する鳥取県日南町

は「創造的過疎」をテーマに町づくりを進めている。鳥取県の約1割の面積を有する町は、そのほとんど

は「創造的過疎」をテーマに町づくりを進めている。鳥取県の約1割の面積を有する町は、そのほとんどは「創造的過疎」をテーマに町づくりを進めている。鳥取県の約1割の面積を有する町は、そのほとんど

は「創造的過疎」をテーマに町づくりを進めている。鳥取県の約1割の面積を有する町は、そのほとんどは「創造的過疎」をテーマに町づくりを進めている。鳥取県の約1割の面積を有する町は、そのほとんど

年度の合計特殊出生率は2・91となつた。したがって、平成25年度の合計特殊出生率は2・91となつた。

全国でも過疎高齢化が進んでいる自治体のひとつであるが、近年若者を中心とした移住者が増え、平成25年

が森林であり、農林業が主な産業という典型的な中山間地域である。

全国でも過疎高齢化が進んでいる自治体のひとつであるが、近年若者を中心とした移住者が増え、平成25

年実習生)」の声が上がつて実習生)」の声が上がつていた。今はコンビニが1店舗でき、林業機械の免許も取得できるように対応している。

## ○島根県飯南町

島根県中南部にあり、広島県との県境、中国山地の脊梁部に位置し、周囲を1千メートル前後の山々に囲まれ、平坦地の標高が約450メートルの県下でも代表的な高原地帯である。

○島根県飯南町  
平成23年度に町営の学習塾「学習支援館」を開設。対象は町内の中・高校生で中学生は無料、高校生が月額5千円(教材費を除く)、

## 【定住支援センター】

飯南町では、定住促進を目的とした「定住支援センター」として位置付け、地域コミュニティ活動等への参加を条件としている。現在までの定着率は61・4%である。

研修生の意見として「冬場仕事がない、若い人が少ない、コンビニがない、小さな空き家がない、地域の人間関係に不安、常に研修生は地域の人に見られる、持ち合わせの金がない、農地の確保、就農資金がない(農業研修生)、高性能林業機械の現場実習の機会がない、免許が必要(林業

事業・農林業定住研修・定住促進賃貸住宅・定住及び雇用促進助成金等の施策を

談の窓口の設置・結婚相談事業・農林業定住研修・定住促進賃貸住宅・定住及び雇用促進助成金等の施策を町をあげて全面的にバックアップしている。

## ※研修を終えて

飯南町では様々な定住施策を一つの窓口でトータル的に支援できる仕組みができている。

担当職員自身がIターンであり、今までの豊富な経験や人脈を通じ年間12回以上の移住相談会へ積極的に参加(東京・大阪・広島等)。

田舎暮らしを考える方が先ずは気楽に町での暮らしを体験できるように家電や寝具等を揃えた「お試し暮らし住宅」や検討中の方の希望に応じ、仕事や住居の

体験プログラムを組むなど次々と展開を図る。

さらに定住後は地域に受け入れてもらえるよう地域の自治会に紹介し、ご近所付き合いがスムーズにできるようサポートするなどのアフターフォローも手厚く行っている。

なかでも注目したのが定住促進賃貸住宅。移住希望者が内装などを自由に設定できるセミオーダー

方式の町営住宅を建築。これを月4万円で貸し出し25年居住後に所有権を無償譲渡するというもの。

地方を中心とする人口減少問題がクローズアップされている中、全国の自治体では定住・交流人口の拡大を目指し移住者に対する様々な支援を打ち出している。

この研修で学んだことを今後の移住・定住対策に活かしていきたい。



島根県飯南町

## 議会のうごき

		議長との懇談会 （本庁・正副議長）	14    津野町森林組合情報交換会
11月		22    産業祭・健康ふくし展 （西運動公園）	25    須崎警察署員との交流会 （須崎市・議長）
		30    議会運営委員会 （本庁・委員）	2    津野町成人式 （本庁・議員）
	12月	1    高知県戦没者追悼式 （須崎市・議長）	4    津野消防出初式（鳴川グラウンド・議員）
		6    津野町戦没者追悼式 （酒蔵ホール・議員）	5    新年挨拶回り
		9    高幡町村議会議長会県外研修（長野県・議長）	（須崎市・議長）
		10    県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会 （東京都・議長）	（須崎市・議長）
		11    町村議会議長全国大会 （東京都・議長）	組合全員協議会 （須崎市・議長）
		13    全国過疎地域自立促進連盟定期総会 （東京都・議長）	4    第7回津野町議会定例会 （本庁・議員）
		19    津野町議会行政視察研修（鳥取県及び島根県・議員）（～20日）	1    第7回津野町議会定例会 （本府・議員）
		21    訓子府町正副町長及び地区長会末会 （西庁・議長）	13    議会だより発行調査特別委員会（本府・委員）
			8    一般質問（本府・議員）
			9    議案審議、閉会（本府・議員）
			20    議会だより発行調査特別委員会（本府・委員）
1月		25    全員協議会（本府・議員）	18    須崎警察署員との交流会 （須崎市・議長）
		30    議会運営委員会 （本府・委員）	2    津野町成人式 （本府・議員）
		11月	14    津野町森林組合情報交換会

(わが家のペット紹介) 今回は、山本歩さんの愛犬です。

- ・住所 桑ヶ市
- ・名前 コロ
- ・生年月日 不明  
迷い犬で一昨年の9月18日からわが家の住犬です。
- ・犬種 四国犬
- ・飼い主さんから一言  
特技は空き缶拾いです。ペットボトルも拾います。

ごみは  
捨てないでね



発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 笹岡印刷所

津野町議会だより  
発行調査特別委員会  
委員長 西元和代  
副委員長 大崎芳章  
委員 品田中西森盛幸  
委員 岸中越一俊  
委員 松尾信壽

※分かりやすい紙面にと心が  
けています。読後のご感想  
ご意見をお寄せ下さい。

昨年末は暖かい日が  
続き、穏やかな気候と  
は裏腹に国会では安全  
保障関連法案、消費税  
10%と大変な難問題が  
あがつた。津野町でも  
まち・ひと・しごと創  
生総合戦略、又奥四万  
十博等町民一致団結し  
て頑張っていかねばな  
らない。郷地区集落活  
動センターも近々落成  
の運びとなり、虎太郎  
邸も頑張っている。津  
野町の観光・グルメに  
知恵を出し合い成功に  
結びつけたいものだ。  
(文責・松尾信壽)

## 編集後記